

Local Area News

創立100周年を祝う

前橋食堂(協)

前橋食堂協同組合（森田武徳理事長、組合員102人）では、6月8日、前橋市・前橋テルサにて「創立100周年記念祝賀会」を開催した。冒頭、組合に10年以上加入している組合員に対して表彰を行った。その後、群馬県ラジオ体操連盟会長で、1964年開催の東京オリンピックピックにおいて体操競技委員を務めた明石六郎氏を招き、「聖火はふたたび」と題して講演会を行った。明石氏は自身の体験を交え、努力することの大切

さやオリンピックを通じた友好の素晴らしさについて熱く語った。



配布した記念誌

先進企業を視察

太田ニット工業(協)

太田ニット工業協同組合（寺内弘之理事長、組合員7人）では、6月10～11日、山形県寒河江市の佐藤繊維株式会社へ総勢8人で視察を行った。佐藤繊維株式会社は、オバマ大統領就任式の際、ミシエル夫人が着用したカーディガンのニット素材を開発し脚光を浴びた企業。

膨大な量の原材料を保管する倉庫、商品開発フロア、工場に併設されるセレクトショップ、紡績工場等を視察。また、取締役紡績事業部長・加藤金栄氏より、事業展開の経緯、紡績の技術的な部分の説明を受け、見聞を深めた。

組合では、今後も継続して先進企業への視察を行っていく考え。



視察地での集合写真

のぼり旗で組合をPR

群馬県時計貴金属眼鏡商(協)

群馬県時計貴金属眼鏡商協同組合（茂木清理事長、組合員70人）では、組合をPRすると共に、お客様の入店を促す目的で「のぼり旗」を作成した。組合でのぼり旗を作成するのは初めて。作成したのぼり旗は、鮮やかな赤色の生地に白い文字で「群馬時計職人の会」と明記、左側に組合名、上の部分には、時計を修理しているイラストを描き、時計専門店であること

をアピール。走る車からでも大変目立つデザインとなっている。

店頭に掲げてから、電池交換の依頼が増えた店もあり効果は上々。組合では、のぼり旗を見て、新規加入者が増えることも期待している。

なお、組合は、組合事業として、年2回時計・メガネ・宝飾の展示会を開催しており、のぼり旗は6月の展示会で初めて組合員に配られ、6月中旬より組合員の店頭で掲げ始めた。



店頭に設置したのぼり旗

ビジネスマナー研修開催

桐生中小企業福祉事業(協)

桐生中小企業福祉事業協同組合（日野昇理事長、組合員203人）

LAW

では、7月1日、新入社員を対象としたビジネスマナー研修を開催した。講師は、株式会社オフィス・アドバンの鈴木道子氏。

研修では、ロールプレイングを通じて、コミュニケーションを学ぶとともに、ビジネスマナーを体得することが狙い。

鈴木氏は、マナーは人との関係をスムーズにする潤滑油としての役割があり、マナーは心の表れであると説明。さらにマナー上手になるための5ヶ条を披露し、具体的な電話応対やお辞儀などのマナーを紹介した。

研修後半では、訪問者に対する挨拶から、名刺交換、そして会議室への案内という一連の流れの中

において、マナーとして気を付けるポイント等を解説した。

鈴木氏は、マナーにはマニュアルはない。場の空気を読み、相手を思いやる心や態度が大切であると参加者にエールを送った。



実践的な内容で行われた研修

通常総会・情報交換会開催

群馬県金属プレス工業会

群馬県金属プレス工業会（川島康史代表幹事、会員103人）では、7月13日、通常総会を開催した。川島代表幹事を議長に、各議案を審議し、会費を減額することの一部、収支予算を変更し、全議案、満場一致で可決承認・決定された。役員改選では、代表幹事に

有限会社新貝製作所代表取締役社長の新貝隆一氏を選出した。

総会後、中央会より、「BCP作成支援」並びに、本業の成長支援を目的に、本年7月1日に施行された「中小企業等経営強化法」について情報提供を行った。また、情報交換会では、自動車関連が忙しく人手不足の状況に加え、取引先からの高い品質要求への対応に苦慮する様子や、アジア諸国へ進出する企業の状況、さらに、建機需要の落ち込みによる影響などが報告された。



総会・情報交換会を開催

はばたく商店街30選に選定

商店街(振)高崎中部名店街

商店街振興組合高崎中部名店街

（西澤彰理事長、組合員74人）は、中小企業庁が選定する「はばたく商店街30選」のひとつに選ばれた。選定された30の商店街の取組を収録した冊子が作成され、同組合の事例を掲載している。商店街の取組のポイントとして、「来街者のニーズを的確に把握し、地域の様々な団体や学校との幅広い連携をすることで、年間を通じて数多くの記憶に残るイベントを開催している」と記し、新成人が晴れ着姿で商店街に設置したレッドカーペットを歩き、プロカメラマンが記念撮影を行う「街なか成人式」や、商店街内にかぶと虫を放し、子供たちが虫取りをする「かぶと虫出没注意」などの活動を写真入りで紹介している。

なお、同情報は、中小企業庁のホームページで閲覧可能。



多くの事例を紹介